

市町村国保の特定健康診査等実施状況 (令和3年度実施分速報値)

このたび、国保中央会において市町村国保の特定健康診査等実施状況（令和3年度実施分速報値）が取りまとめられたので、令和3年度を含む直近5年間の実施状況をお知らせします。

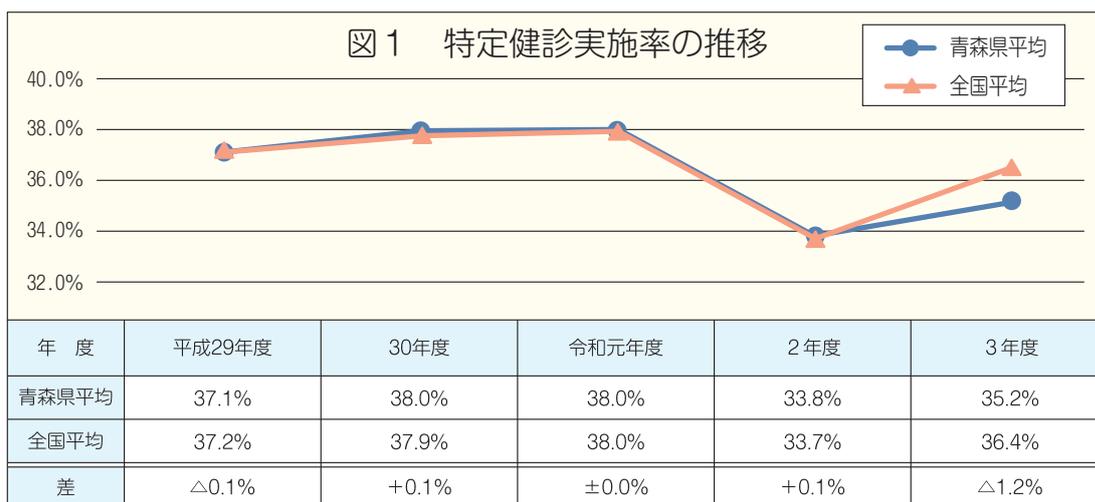
本県における実施率は、特定健診・特定保健指導ともに、コロナ以前より低い状況にあり、加入者の健康上のリスクが高くなっていることが懸念されますので、各保険者には引き続き実施率の向上が求められます。

・特定健診

本県の特定健診実施率は近年全国平均と同水準で推移し、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う受診控え等により、平成20年度の制度開始以来初めて低下しました。

令和3年度は再び上昇に転じ、1.4ポイント増の35.2%となりましたが、全国平均の36.4%を1.2ポイント下回りました。（図1参照）

なお、全国的にコロナ以前の水準に戻っておりません。



・特定保健指導

本県の特定保健指導実施率は制度開始以来全国平均に比べて高く、その差は年々拡大傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により令和2年度から2年連続で低下しました。（図2参照）

